令和7年度地域協働事業　母子保健活動に活かせる資材検討活動

岩手県立大学看護実践研究センター

プログラム名：母子保健活動に活かせる資材検討活動
～小さな魔法をあなたに～子育て応援クリスマスフェスタ

責任者：看護学部　准教授　谷地和加子
共同者：アンガホッファ司寿子、遠藤良仁、金谷掌子、蘇武彩加、
佐藤恵、北畠めぐみ、福島裕子

▼事業の概要（背景・目標）

滝沢市こども家庭センター担当者と協働し、母子保健に活かせる資材作りを中心に活動した５年目となる。これまで、沐浴動画作成、子育て中の方を対象としたアンケート調査、県大版両親学級を実施した。今年度は、子育て応援クリスマスフェスタを開催し、評価を行った。

▼事業の内容（方法・経過）

1. 対象：妊産褥婦と家族、住民

2.内容：講演「夫婦仲良くスマイル子育ての秘訣」、レッツダンス、クラフト体験、プレパパママ体験（おむつ交換など）、孫育ての会、個別相談会

3.期間：12月20日（土）10：30～15：30

4.場所：ビックルーフ滝沢（小ホール）

▼事業の成果（結論・考察）

1.参加者：計234名（大人120名、子ども114名）、市内35組、市外41組。

2.学生9名（保健師・助産師課程）、滝沢市保健師7名、民生委員2名で事業を実施。

3. 参加者の声：「参加して楽しかった（パパ）」「頑張っているねと声をかけてもらい涙が出た（ママ）」

リーフレット

バルーンアート

多彩な体験プログラムの実施

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1.R4のアンケート結果から体験会の要望があり、両親学級を経て今年度は学生も加わり、子育て応援フェスタを開催した。子ども連れで来やすい場所、土曜日に開催したことから、子育て中の方の参加が多かった。滝沢市ではパパへの子育て支援が課題に挙げられており、次年度もパパもママも、そして祖父母も参加ができるよう工夫していきたい。個別相談会への参加はなかったため、次年度の課題としたい。

（謝辞）開催にあたり、ご協力いただいた滝沢市こども家庭センターの皆様、民生委員の皆様、本学学生に感謝致します。